

NEWSLETTER



大阪女学院大学 大阪女学院短期大学

教 員 養 成 セ ン タ ー

● 巻頭エッセイ 教育の未来図..... 1	● 授業の玉手箱「Graphic Organizer の活用」..... 4
● 2012 年度教員免許状更新講習3 報告..... 2	● 書籍紹介『言語が違えば、世界も違って見えるわけ』..... 4
● 『OJU 教職活動報告・研究 Vol. 3』の発行..... 3	● 2013 年度教員免許状更新講習1・2 案内..... 4
● 第 22 回勉強会「英語の教え方教室」案内..... 3	● 編集後記..... 4

巻頭エッセイ

教育の未来図

中井 弘一

戦後制定された旧教育基本法（昭和 22 年 3 月 31 日）前文にある「われらは、さきに、日本国憲法を確定し、民主的で文化的な国家を建設して、世界の平和と人類の福祉に貢献しようとする決意を示した。この理想の実現は、根本において教育の力にまつべきものである」（傍点筆者）は、教員になった頃の自分を支えるものであった。鉄筆でガリ版印刷のプリントを作り、重いオープンリールのテープレコーダーを抱え、白墨で手を真っ白にしながら板書し、恵まれた環境とは言えない中でも教育の力を信じ、熱く語りながら生徒と向き合った。それでよかったのだらう。

40 年の時を経て時代は変わった。当時の手塚治虫が「鉄腕アトム」などの漫画の世界で描いた未来のいくつかの道具や事象が現実のものとなった。科学技術の進展による情報化、グローバル化などにより、社会は新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す知識基盤社会となった。教育の未来はどうなっていくことだろう。

- ・ 知識には国境がなく、グローバル化が一層進む。
- ・ 知識は日進月歩であり、競争と技術革新が絶え間なく生まれる。
- ・ 知識の進展は旧来のパラダイムの転換を伴うことが多い。
- ・ 性別や年齢を問わず参画することが促進される。

このような変化の中で、インターネットというこれまでの社会になかったネットワークが構築され、受け取る情報が押し寄せるように増加し、そのおびただしい量の情報を選択して即時に判断することを現代人は迫られている。選択の自由度が増せば増すほど、判断すべきことが増え、問題は一層複雑化する。グローバル化し、こうした急速に変化する知識基盤社会を生きるのに必要な力を、OECD は、学校だけでなく、人生を通じて発達させる力として捉え、次の3つのキー・コンピテンシーに集約している。（DeSeCo プロジェクトの提案（2003））

① 社会・文化的、技術的ツールを相互作用的に活用する能力

Using Tools Interactively

② 社会的な異質の集団における交流能力

Interacting in Heterogeneous Groups

③ 自律的に行動する能力

Acting Autonomously

国立教育政策研究所（2012）は、学校における持続可能な発展の

ための教育の視点に立った学習指導で重視する能力・態度の例として以下の7項目をあげている。

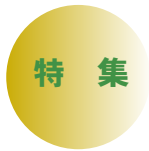
- ・ 批判的に考える力
- ・ 未来像を予測して計画を立てる力
- ・ 多面的、総合的に考える力
- ・ コミュニケーションを行う力
- ・ 他者と協力する態度
- ・ つながりを尊重する態度
- ・ 進んで参加する態度 など

これらのことを踏まえると、これまでの正解である事実と問題を解決する手順に関する知識を得る traditional learning では対応できなくなっている。より深い概念的な理解を伴う知識が必要となる。変化する状況に対応する思考力・判断力・表現力を育成しなければならない。それには、教師による指導を中心とした知識習得・暗記中心の授業から、生徒が自分の学習に積極的に参加する、生徒の学習の過程や思考のプロセス、発想を重視した授業へのパラダイム転換が求められる。

秋田（2012）は授業の質を上げる規定因として、どのような授業をめざすのか「教育の方向性としての質」、それを支えるためどのような構造やシステムを創り出すか「構造の質」、教育の過程を具体的にどのように捉えるのか「過程の質」、そして成果としてどのような状況であるかの「成果の質」と四つの質を取り上げている。特に過程の質は授業とリアルタイムに問われるものになる。これらの質保障に求められる授業の構造は、「参加型」「対話型」「共有型」「多様型」「探究型」でないかと思う。これらの要素をしっかりと捉えて授業をデザインし、展開していかなければ、教育の未来図は描けないであろう。

参考文献

秋田喜代美（2012）『学びの心理学 授業をデザインする』放送大学叢書、左右社
 国立教育政策研究所（2004）「キー・コンピテンシーの生涯学習政策指標としての活用可能性に関する調査研究」 http://www.nier.go.jp/04_kenkyu_annai/div03-shogai-lnk1.html
 国立教育政策研究所（2012）『学校における持続可能な発展のための教育（ESD）に関する研究 [最終報告]』 http://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/esd_saishuu.pdf
 OECD(2003) THE DEFINITION AND SELECTION OF KEY COMPETENCIES Executive Summary <http://www.oecd.org/dataoecd/47/61/35070367.pdf>



教員免許状更新講習 3 2012 年度 平成 25 年 3 月 9 日(土) 報告：中井 弘一

「思考力・判断力・表現力」の育成をめざす指導

- **国際社会を読み解く英語力** —異文化理解の視点から時事素材を教材として—
- **思考力を高める英語授業** —様々な thinking skills , project-based learning などを取り入れて—

■ 講習3

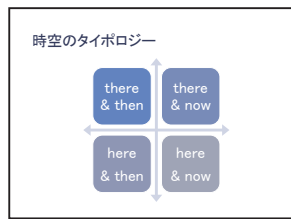
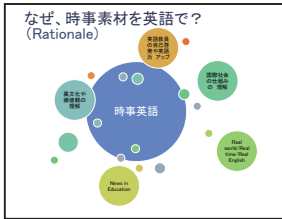
● 「国際社会を読み解く英語力」

—異文化理解の視点から時事素材を教材として—

東條 加寿子

グローバル化の進む国際社会で通用する「思考力・判断力」を養うためには、自文化の価値判断や思考回路から脱却した異文化理解の視点が必要であることを、時事英語素材を使って演習する。

1. なぜ、時事素材を英語で 時空のタイポロジー
2. 時事英語とは何か 時事英語の力
3. なぜ英語で Trust me の誤謬
4. 時事英語教材化の試み 時事英語は役に立つ、しかし
5. 時事素材候補 語彙レベルチェックサイト
6. どのような時事素材を捉えるか どのような観点から切り込むか



1. Martin Luther King - I Have A Dream Speech (Classical)
<http://www.youtube.com/watch?v=smEqnklfYs>
2. Steve Jobs' 2005 Stanford Commencement Address (Standard)
<http://www.youtube.com/watch?v=UF8uR6Z6KLc>
3. Burqa Ban (Professional)
<http://edition.cnn.com/2011/US/studentnews/04/11/transcript.tue/index.html>
4. Global Population Growth (Recommended)
http://www.ted.com/talks/hans_rosling_on_global_population_growth.html

● 「思考力を高める英語授業」

—様々な thinking skills , project-based learning などを取り入れて—

中井 弘一

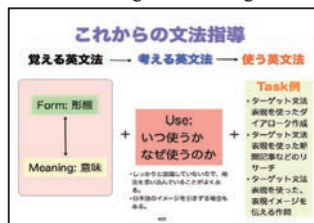
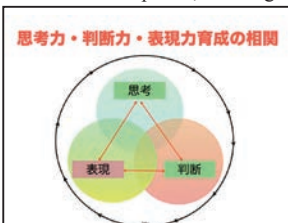
英語の授業で「思考力・判断力・表現力」を育成する指導の構成要素は何か、その key competencies とは何かを探りながら、critical thinking をはじめ様々な thinking skills や PBL などを用いた実際の教材展開例を考える。

1. インターネット時代
2. 思考力・判断力・表現力の育成：論理とは
3. 思考を可視化する：思考のプロセス
4. 書くことで整理する：ノートの取り方、Graphic Organizer の活用
5. 対話型授業で問いかけ合う：質問する生徒の育成
6. 思考力・判断力・表現力を育成する活用型学習活動例

“What to think” から “How to think” へ

Teaching students how to compare, contrast and synthesize data helps them through the disorder that can occur in studying.
“Making thinking visible”

Making thoughts concrete pins ideas to the reality of paper and prevents them from shifting or fading from memory. Internal concreteness helps too, thinking aloud and forming mental images.



■ 講習3 受講者コメント

参加者（紙面の都合により全 28 名のうち 12 名）のコメント

- あっという間の 1 日でした。日々の授業が受験に直結するようなとばかりを扱っているため、本日の講習で学んだようなことはあまり気に留めていませんでした。しかし、時事英語は実際の生活の中で一番必要なものであり、生徒にとっても将来、一番役立つものだと思います。私にとっては難しい内容の講習でしたが、受験のずっと先にある生徒達のことを考えて、5 分でもいいから時事英語を取り入れた授業ができるように努力したいと感じました。本日はありがとうございました。
- 思考力・判断力・表現力を鍛え育成する方法を教えてくださいました。楽しく示唆に富んだ講習で 6 時間があっという間でした。生徒達を encourage できるように、今から来年度の予定をもう一度作り直せるように考えていきます。ありがとうございます。きてよかったです。
- 初めて受けた更新講習が、このように良心的で意味のあるものであったとは、周囲から聞いていたものとの違いに驚き、よい選択をしたことを実感しました。
- 中井先生の講習会や指導助言を継続して受けていることを通して、英語教育で思考力を高めるのに必要なことが徐々に分かってきた。自分が教える生徒達にも聞かせてあげたいし、中井先生に実際に授業をしていただきたいと思った。東條先生のお話を伺って、タイムリーな内容を日常的に生徒の目に触れさせると同時に一つの題材について深く学び考えさせることも大切だと思った。
- 非常に有意義な講義内容であった。iPad を使った講義、英語でのスピーチを映像で見たりと最新のやり方など感じ、またこのような手段で英語を勉強できるかとかと、わたしもまた iPad を購入したくなりました。また、中井先生の講義も非常に内容が豊富で、グループの方と話す機会が多く楽しく受講できました。もっとも話を聞きたいくらいでした。本日は大変ありがとうございました。
- こんなに「熱い」教員免許状更新講習は初めてでした。形式的でなく、参加者に何かを伝えたいという先生方の思いの伝わってくる講習でした。感謝です。6 時間の講習はたいへい 6,000 円かかりますが、今回の講習は 3,000 円というところにも、本講習の目的が具体的に表れているように思いました。
- 午前中の「国際社会を読み解く英語力」については、iPad を使った画期的な講習で内容についても、時事英語や時事問題についての考え方は変わり、今後は授業等でもできるだけ活用できる時間を見つけて他教科の先生方とも相談・協力してやりたいと思った。また、中井先生の思考力を高める英語授業については、教育哲学に始まり、ノートの取り方等細かい学習指導、思考・判断・表現力の育成など、今までの私の授業の隅々まで検証できただけでなく、コミュニケーション能力の育成理論など、その他多くの新しい示唆に富んだ内容であった。新年度の授業プランニング（特にコミュニケーション英語 I）に早速役立てたい。



- 昨年3月から受講し、貴学で3回の講習を受講することにより、更新講習を終わろうとしています。熱心な指導には、ただただ頭が下がる思いで、深く感謝しています。勿論、講習を通して様々な知識や情報を得たことも有意義でしたが、熱心な先生方の英語教育にかける姿勢に接することができたことこそが、本当に貴重な経験でした。これからも、お元気でご活躍ください。
- 東條先生、中井先生 本日は本当にありがとうございました。盛りだくさんの内容でした。帰宅してから自分でレビューしないと消化不良になるほどです。この4月から高等学校でも新学習指導要領に準拠したテキストで授業を行うこととなります。キーワードになっている「思考力・判断力・表現力を育成」するためのヒントを今日はたくさんいただきました。テキストを有効に活用するためのアイデアを知ることができ、本当に充実した一日でした。自ら気付きその上で創意工夫を加えていかなければ、決して生徒をmotivateするような授業はできないことを実感しました。今後も機会があれば、聴講として参加させていただければと思います。
- いつも私たちのことを一生懸命考えて、内容の濃い講習をしてくださり本当にありがとうございます。毎度頭が下がり、感謝の思いでいっぱいになります。東條先生…時事英語はとてもよい教育教材だと思います。難しそうだから…と思っていたら意外なことに生徒から“おもしろい！もっとやりたい”とリクエストをもらったりしました。教師が偏見を持たないこと、自分が興味を持つことが大事だと思います。中井先生…今日も充実した講習をありがとうございました。“基礎知識から応用へ”、今後教師が一番心を砕き発展させていかなければならないところだと思います。益々、教師が試されていきますね。
- 東北の人々に黙祷を…で始まる講習は、そうないことかもしれません。スライド・音楽ともに心がこもった、印象に残るものでした。判断力には選択肢がある。その中から“判断する”行為が生まれることも気付かされました。何気ない活動にも意味がある。意味を持たせなければならぬことを教わった講習でした。
- 昨年夏にも受講させていただきましたが、その時よりも増して話のポイントのテーマ性をはっきりしていたと思い、とても有効に今後の授業に活かせるいろいろなネタや思考法など考えさせていただくことができました。とても一日では収まりきれない内容を、家へ持ち帰っても続けられる学習素材や教材なども提供していただき、来る度にお土産でとてもいっぱいにしていただいて本当に感謝しております。ありがとうございました。

大阪女学院大学 教職課程機関誌 発行

『OJU 教職活動報告・研究 Vol.3』

2012年度の本学教員養成センターの活動や教職課程学生のレポート、現場の先生の実践報告などをまとめたVol.3を去る3月7日に発行した。



本学教員養成センターは、教育の「未来」に貢献する役割を演じてゆきたいと考えている。昨年度は、4年制大学移行措置の学生が教育実習に赴いた。3年生は教職フィールドワークで英国へ出かけた。年を経る毎に充実した活動を行っていきたくと考えている。このVol.3では、2012年度の教職活動の中で教職課程学生のレポートを一層充実させるように努めた。勉強会も現場の先生の発表が中心となり、昨年より更に充実した内容となった。実践記録・実践報告を投稿していただいた中西先生、二森先生、真田先生にお礼申しあげたい。設置して4年目の本学教職課程は、明日の教育を考える教育機関としてこれからも着実な歩みを示してゆく所存である。

目次

巻頭言 教職課程開設から3年経って	・中学校での授業デザインに大切なこと—その要素 田口 真弓 ・学習者に応じた教材開発 川野 潤美
I 2012年度活動報告	3. 教職フィールドワーク(英国)報告・レポート
1. 教員免許状更新講習	・ Interesting Educational Features: Observing Classes at Manor School 高井 楓 ・ 日本と英国の教育観点に違いはあるのだろうか? 樋口 綾香
講習1「教材の開発—その基盤となる考え方と工夫—」	
講習2「体験型ワークショップ・クリニック: 音声で 拓く英語指導のために」	
2. 授業デザインスキルアップ演習	4. 教育実習報告・レポート
3. 勉強会 英語の教え方教室	・ 教育実習を通して感じた教育課題 末松 美郷 ・ 教育実習の経験をこれからの英語指導にどのように 活かしていくか 小島 緑 ・ 効果的な授業とは 森下 好香・教員指導が基本 —そのための生徒との関係— 茨木 成美
第15回 Post-reading 活動の効果について、授業 改善への試み	
第16回 英語授業ディベート授業実践報告	
第17回 英語特区における「英語活動」授業の取 り組み	
第18回 大阪女学院大学教職フィールドワーク課題 研究発表	V 実践記録・実践報告・自由論考
第19回 クイーンズランド大学での研修で学んだこと	■実践記録
第20回 中高連携の観点からみた四技能をバランス よく伸ばす指導とは	1. 中高連携の観点から、四技能をバランスよくノ バス指導とは 滋賀県立八幡高等学校教諭 中西 勝弘
第21回 私の授業への挑戦、私が試みる指導法	2. 活用型学習を育てる授業を目指して—英語I、 OCIでの実践— 兵庫県立尼崎小田村高等学校教諭 二森 正人
II 教員養成センター・ホームページ報告	■実践報告
1. 月別HPアクセス件数(2012年1月~2012年 12月) 2. 英語教育 巻頭リレー・エッセイ(2012 年2月~2013年1月)	1. 生徒の意識および論理思考の可視化を試みて 兵庫県立国際高等学校教諭 真田 弘和
3. 書籍紹介(2012年2月~2013年1月)	■自由論考
III OJU教職ネットの1年	1. ハワイビジン英語内の日本語起原語彙—カウ イ島リフエプランテーションにおける日本人移民労働 者の生活環境— 本学準教授 夫 明美 2. 英語授業における思考力・判断力・表現力育 成の方途 本学教授 中井 弘一
1. ML配信記録配信件数推移(~2013年1月)	
2. OJU教職ネット登録について	VI 特別寄稿
IV 教職サークル活動・教職課程活動報告(学生 報告)	日本で英語を教えるノン・ネイティブ教師であるこ と 本学教授 寺 秀幸
1. サークル活動報告	
2. 学生授業課題レポート: 「英語科教育法I」、「英語科教育法II」 ・オーディオ・リンガル・メソッドの有効性と指導の 実際 田口 真弓 ・ 英語の教師は英語で授業を進めるべきであるとい う考え方について 谷口 亜里沙 ・ Content-Based Approach/Task-Based Approach は役に立つ教授法か?—その指導法の考え方と指 導の実践から— 高井 楓 ・ 認知学習理論は役に立つ指導法か?—その指導 法の考え方と指導の実践から— 谷口 亜里沙	資料 教員養成センター Newsletter 2012 第9号 第10号 第11号 第12号 投稿規定 編集後記

<http://www.wilmina.ac.jp/ojc/edu/ttc/newsletter/bulletin> に掲載

第22回「英語の教え方教室」勉強会 案内
2013(平成25)年5月18日(土) 14:00~17:00

大阪女学院大学 教員養成センター

「生徒の意欲を引き出すメンタルトレーニング」

大阪府立枚方津田高等学校 久保田 親夫 教諭

最近、意欲があまり見られない生徒が多くなったと聞きます。昔と比べ、押し寄せる情報の渦の中、選択の自由も格段に増えましたが、自由が増えるほどに判断を迫られる量が増え、同じことを望む人が増すほどに競争が激化し、生きる課題も一層複雑になりました。高まる不安に学習意欲も失いがちになるのではと思われます。そこで、今回は英語の授業発表でなく、生徒の意欲を引き出すメンタルトレーニング講習を久保田先生にお願いしました。



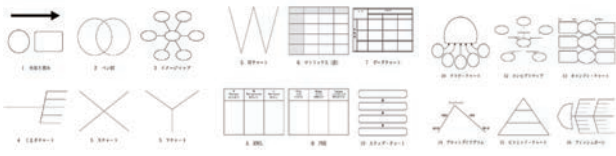
メンタルトレーニングとは、意志・意欲・決断力などの精神力を強化するトレーニングです。教室に、「笑われるかもしれない」「怒られるかもしれない」「嫌われるかもしれない」「馬鹿にされるかもしれない」「早く結果をだしたい」「どうせやっても無駄だ」と思っている生徒はいないでしょうか。そんな生徒に「私は意欲的に取り組む。私は積極的にアピールできる。私はやる気満々だ」とポジティブに考えさせられるように、久保田先生が学ばれた「実力発揮の公式」をベースに、心と体の抵抗を減らし集中力を高めるトレーニング講習をしていただきます。ご参加の際には、黄色の硬式テニスのボールを中古で結構ですので、テニス部から借りたりして2~3個用意してください。—昨年の「英語I」、昨年度の「英語速読」「英文法II」でのメンタルトレーニングや教具についてお話していただきます。久保田先生は、大阪大学の学生にも特別講義でこのメンタルトレーニングを講習されています。皆さんも是非この講習で得たトレーニング法を実際の授業で実践し、生徒の不安解消にこれまでと異なるアプローチを試してみませんか。また、ちょっとした教具の開発についても時間が許す限り紹介していただこうと思っています。

授業の玉手箱

Graphic Organizer の活用

中井 弘一

「思考力・判断力・表現力」の育成が強く求められているが、思考は目に見えるものではないので、どういう状況にあるのか把握できず、ゆえにどう指導すれば良いのかわからないことが多い。いわゆる Input と Output とを結ぶ Intake(内在化)の思考のプロセスをまず把握しなければならない。Bloom (revised 2001) は思考のプロセスを remembering, understanding, applying, analyzing, evaluating, creating の段階順としている。このプロセスでは、まず与えられた情報を分類し、その内容がどのような関係構造になっているのか並べ替えて整理することが必要である。その際、下に例示するグラフィック・オーガナイザーを使って図式化して整理すると、全体の構造がイメージしやすくなる。グラフィック・オーガナイザーは、生徒が自分の知っていることを考え、視覚化し、整理するのに役立つ。物事の間を明らかにし、考えをまとめ、計画やプロセスの段階を組み立てるために、思考を可視化する Thinking tool として活用することを薦める。



参考：黒上晴夫 (2012) 『シンキングツール ～考えることを教えたい』
http://ks-lab.net/haruo/thinking_tool/short.pdf

書籍紹介

『言語が違えば、世界も違って見えるわけ』
 ガイ・ドイッチャー著 (椋田直子 訳) インターシフト
 (2012) 2400 円、207 ページ

英語を教えていると、やはりこのようなタイトルの本は見逃せない。原書のタイトルは Through the Language Glass: Why the World Looks Different in Other Languages で、こちらのほうがより魅力的である。

本書で、言語学者ガイ・ドイッチャーは「言語が違えば、世界はどのように違って見えるのか」、すなわち「言語(母語)は思考や知覚にどのように影響を与えるか」というテーマを探るために、古代ギリシャから現代、未開社会から現代社会まで実に広範な時空を駆け巡っている。そして、本書を読みやすく説得力あるものにしていく理由として、筆者は、「色感」、「方位感覚(左右と東西)」、「ジェンダー(男性名詞と女性名詞)」等を例に日常生活のなかの現実的な文化領域内を探索している。外国人にとってはどことなく違和感があるといわれる日本の信号の色が生まれたいきさつ(国際基準に準拠する緑(「進め」)の範囲内でありながら、日本語で「アオ信号」と呼ぶにふさわしい絶妙な色合い)もなるほど頷ける。

「言語が思考を形づくり、決定する」という言語相対論を主張したのはエドワード・サピアとベンジャミン・リー・ウォーフである(サピア・ウォーフの仮説)。ホビ族など北米少数民族の言語調査研究に依拠した仮説は、インド・ヨーロッパ語族中心の世界観を打ち破ったため、大きな注目を集めたとも言われている。次に現れたのがチョムスキーである。チョムスキーは、人間は生まれながらに普遍文法を持ち、人間の先天的特徴を表現するものとしての言語の様相こそが本質的に重要であるとした生成文法(普遍文法)論を提唱した。(チョムスキーは「火星の科学者が地球を観察したら、地上のすべての人間は単一言語の諸方言を話していると結論づけるに違いない」といったそうだ。)

さて、本書はそのタイトルから、言語相対論と生成文法論という二項対立論を戦わせ、言語相対論の復権に組するのだろうかと思いきや、そ

の立場にはない。最新の脳神経科学の発達や精緻な心理実験に裏打ちされた認知言語学の知見を拠り所として、「言語(母語)は思考を限界づけはしないが、話し手の心の習慣を形づくり、認知・記憶・連想などに大きな影響を与える力を持つ」とするのが本書の主張である。言語学習者の認知や記憶の領域は言語を介したコミュニケーション研究の観点からも興味深い。

本書は、言語と思考の関係性をめぐるテーマに時間軸を加え、パラダイムシフト(時代による世界観や価値観の変遷)の構図の中で論じているように思う。好著である。
 (東條 加寿子)

大阪女学院大学「教員免許状更新講習1・2」 平成25年度講習

<http://www.wilmina.ac.jp/ojc/edu/ttc/certificate>

各講習：中学校英語科教員・高等学校英語科教員 計30名

■講習1 平成25年8月5日(月) 9:10~16:40

「思考力・判断力・表現力」の育成をめざす指導

- ・国際社会を読み解く英語力 ー異文化理解の視点から時事素材を教材としてー
 東條 加寿子 大阪女学院大学 教授

- ・思考力を高める英語授業 ー様々な thinking skills を取り入れてー
 中井 弘一 大阪女学院大学 教授

【国際社会を読み解く英語力】グローバル化の進む国際社会で通用する「思考力・判断力」を養うためには、自文化の価値判断や思考回路から脱却した異文化理解の視点が必要であることを、時事英語素材を使って演習する。【思考力を高める英語授業】「思考力・判断力・表現力」を育成する指導の構成要素は何か、その key competencies とは何かを探りながら、critical thinkingをはじめ様々な thinking skills や PBL などを用いた実際の教材展開例を考える。

■講習2 平成25年8月6日(火) 9:10~16:40

「発音指導とリスニング指導のワークショップ・クリニック」

- ・発音の向上と発音指導の見直し
 夫 明美 大阪女学院短期大学 准教授
- ・英語リスニングのクリニック1：文レベルの音のつながり
 東條 加寿子 大阪女学院大学 教授
- ・英語リスニングのクリニック2：リスニングのストラテジー

中井 弘一 大阪女学院大学 教授
 【発音の向上と発音指導の見直し】体験型ワークショップを通して、発音向上のための練習及び発音指導のヒントについて考える。【リスニングのクリニック1】文レベルの音のつながりを取り扱い、リスニング(音声情報)とリーディング(文字情報)を関連付けたスラッシュリスニングの指導法について考える。【リスニングのクリニック2】リスニングにおける音の判定と識別の遅れをなくし、音を意味化する処理に生じる遅れも小さくするリスニングのストラテジーを考える。

■ 受講申し込み受付

平成25年4月11日(木)より7月19日(金)までに大阪女学院大学 教員養成センター「教員免許状更新講習」担当へお申し込みください。(申込方法) 教員養成センターメールアドレス(ttc@wilmina.ac.jp)宛に、1)お名前(漢字・ふりがな) 2)メールアドレス 3)ご連絡先電話番号 4)勤務先・所属等 5)希望講習を明記してメールを送信ください。一週間以内に本学より申込受付確認メールとともに受講申請手続きについてご案内いたします。

○受講料 5,000 円(所定の口座へ振り込み)



編集後記

本学は4年制大学に教職課程を設置して以来4年目を迎え、今年度が完成年度である。現職教員の皆さんとともに、明日の教育を考える教育機関としての役割を担うようこれからも着実な歩みを示していきたい。本号は第13号、勉強会は第22回を迎える。To teach is to touch the future. ともに頑張りましょう。

大阪女学院大学・大阪女学院短期大学
 教員養成センター Teacher Development Support Center

540-0004 大阪市中央区玉造2丁目26番54号

Tel: 06-6761-9371 Fax: 06-6761-9373

Homepage: <http://www.wilmina.ac.jp/ojc/edu/ttc>

e-mail: ttc@wilmina.ac.jp